

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成28年3月31日(2016.3.31)

【公表番号】特表2015-513396(P2015-513396A)

【公表日】平成27年5月14日(2015.5.14)

【年通号数】公開・登録公報2015-032

【出願番号】特願2014-557691(P2014-557691)

【国際特許分類】

A 2 3 K 20/189 (2016.01)

【F I】

A 2 3 K 1/165 C

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月8日(2016.2.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動物排泄物に存在するまたは動物排泄物から放出される 1 つ以上の有害な化合物の量を減少させることにより、動物排泄物の環境影響を減少させるためのアルカリホスファターゼを含む組成物の使用であって、前記アルカリホスファターゼが、配列番号 1 で示されるアルカリホスファターゼ、または配列番号 1 と少なくとも 95 % の配列同一性を有し、かつ 102 位にセリンを含むアルカリホスファターゼである、使用。

【請求項 2】

前記有害な化合物が、アンモニアまたはリンである、請求項 1 記載の使用。

【請求項 3】

前記動物が、幼若動物である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 4】

前記動物が、ニワトリまたはシチメンチョウである、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 5】

前記動物が、ブタまたはウシである、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 6】

前記アルカリホスファターゼが、離乳期、育成期および / または仕上げ期の 1 つ以上の間に投与される、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 7】

前記アルカリホスファターゼが、動物飼料または動物飼料の添加物として製剤化される、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 8】

1 つ以上のさらなる活性成分が、前記動物に投与される、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 9】

動物排泄物に存在するまたは動物排泄物から放出される 1 つ以上の有害な化合物の量を減少させる有効量のアルカリホスファターゼ、および 1 つ以上の経口的に許容可能な担体を含む、動物への経口投与に適した組成物であって、前記アルカリホスファターゼが、配列番号 1 で示されるアルカリホスファターゼ、または配列番号 1 と少なくとも 95 % の配列同一性を有し、かつ 102 位にセリンを含むアルカリホスファターゼである、組成物。

【請求項 10】

前記有害な化合物が、アンモニアまたはリンである、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 1 1】

前記動物が、幼若動物である、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 1 2】

前記動物が、ニワトリまたはシチメンチョウである、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 1 3】

前記動物が、ブタまたはウシである、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 1 4】

前記アルカリホスファターゼが、離乳期、育成期および / または仕上げ期の 1 つ以上の間に投与されるように適合されている、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 1 5】

前記アルカリホスファターゼが、動物飼料または動物飼料の添加物として製剤化される、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 1 6】

前記組成物が、1 つ以上のさらなる活性成分を含む、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 1 7】

動物におけるリンの消化を増加させるためのアルカリホスファターゼを含む組成物の使用であって、前記アルカリホスファターゼが、配列番号 1 で示されるアルカリホスファターゼ、または配列番号 1 と少なくとも 95 % の配列同一性を有し、かつ 102 位にセリンを含むアルカリホスファターゼである、使用。

【請求項 1 8】

前記動物が、幼若動物である、請求項 1 7 に記載の使用。

【請求項 1 9】

前記動物が、ニワトリまたはシチメンチョウである、請求項 1 7 に記載の使用。

【請求項 2 0】

前記動物が、ブタまたはウシである、請求項 1 7 に記載の使用。

【請求項 2 1】

前記アルカリホスファターゼが、離乳期、育成期および / または仕上げ期の 1 つ以上の間に投与される、請求項 1 7 に記載の使用。

【請求項 2 2】

前記アルカリホスファターゼが、動物飼料または動物飼料の添加物として製剤化される、請求項 1 7 に記載の使用。

【請求項 2 3】

動物排泄物に存在するまたは動物排泄物から放出される 1 つ以上の有害な化合物の量を減少させるため、動物の飼料転換率を増加させるため、動物の飼料効率を増加させるため、および / または動物の成長速度を高めるための、請求項 9 に記載の組成物の使用。